

平成30年度 入学試験問題

国語

九州国際大学付属中学校

【注意事項】

- 1 開始合図のチャイムが鳴るまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
- 2 開始合図のチャイムが鳴ったら、最初に解答用紙と問題用紙に受験番号・氏名を書きなさい。
- 3 試験時間は50分です。
- 4 解答はすべて、問題の指示にしたがって解答用紙に記入しなさい。
- 5 問題用紙で、印刷がはっきりしないところがあったら、静かに手をあげなさい。
- 6 答案ができあがっても、終了合図のチャイムが鳴るまで静かに着席していなさい。

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	--------	--

一

次の文章をよく読んで、あとの問い合わせに答えなさい。字数指定のある問題は、句読点なども一字と数えます。
なお、まだ習っていない漢字については、読みがなを付けたり、ひらがなで表記したりしています。

私の友人に小学校の教師がいる。先日、彼から①キヨウミ深い話を聞いた。その時、彼から教えてもらつた会話を紹介しよう。彼と
彼が担任する小学校六年生の男の子の会話だ。

「○○君は、将来、何になりたいんや？」

「俺？ M L Bに行つてイチローミたいな。ブレーヤーになることかな」

(今どきの子は教師相手にも「俺」と言つうのを知つて驚いた)

「大きな夢を持つてるな。そやけど、○○君は野球クラブに入つてないやないか」

「それがどうしたん？」

「イチローになりたいんやつたら、野球をやらなあかんのと違うか？」

「それはそうや。そのうちにやろうと思つてる」

「イチローになりたいんやつたら、今、やらなあかんのと違うか」

「①俺、多分、やればできるような気がするんや」

私はその話を聞いて思わずふき出してしまつた。あんまりおもしろいので、コントの②ダイホンに使わせてもらおうと思つたほどだ。

しかし友人の教師は笑わなかつた。

「最近③こういう子が増えてるんや。低学年ならおかしくもない。でも六年生にもなつて本気でこんなことを考えてる子がどんどん
増えている。何もできないのに夢だけは大きな子。そういう子たちに共通するのは『自分は ※』と思つてることや」

彼は続けた。

「そういう子たちの親もやつぱり同じことを思つていて、保護者面談なんかで話していると、全然勉強ができないのに、『先生、この子
はね、やればできるんですの』と言つう」

「めちゃくちゃ都合のええ言葉やな」

「そう。しかしこの言葉は、ぼくら教師自身もよく言つセリフなんや。ぼくらは勉強ができない子に対しては、何とか自信を持つても
らおうと『君はできない子やない。やればできる子なんだから』と言い続ける。A、そういう言葉を耳にし続けた子の中に、
『よし、それじゃあがんばつてみるか』と④ハップンする子はほとんどいなくて、逆に多くの子が『俺は今はできないけど、やればで

きるんだ』と思ひこむ」

「根拠のない自信だけを身に付けるわけやな」

「そんなんや。昔は小学校の成績表というのは相対評価やつたから、できなかい子は自分がクラスの位置にいるのか嫌でも知らされた。その分、劣等感も大きかつたと思うが。だけど今の小学校は絶対評価だし、その上、通知表に『できない』という評価はよほどの場合じやないとつけない。だからできない子も自分がどれだけできないのか自覚のないまま大きくなっていく。で、周囲の人からは『君はやればできる子だから』と言われ続けて、自信だけは優等生なみに持つていて。始末に負えんよ」

彼の話を聞いていて、そう言えば私の周りにもそういう若者が増えていた。何の実績もキャリアもないのに、妙な自信だけはある若者たちだ。そのくせ、何にも本気で取り組まないし、がむしやらにもならない。恥ずかしながら、実はかつての私もそうだった。

「自分はやればできる」というのは③魔法の言葉だ。

この言葉を常に心に持つていれば、どんな逆境にもたえられる。「できない自分」に直面しても、「ダメな自分」の姿を見せつけられても、心底落ちこむことはない。落ちこんでも、「俺はやればできるんだから」とつぶやけば、たちどころに勇気がわき、強い自分を取りもどすことができるのだ。

(中略)

しかし、この魔法の言葉が④コウカを持ち続けるためには、ある条件が必要だ。その条件とは、「実際にやつてはいけない」ということだ。

懸命に努力して、**B**必死で挑戦して、もしできなかつたら——その場合は、とんでもないことになる。冒頭の会話で出てきた少年が実際に野球をやつたとしたと考へてもいい。おそらく「やればできる」という彼の中の絶対不变の真理が音を立ててくずれていくに違いない。長い間、自分を⑤ササエていた④最高の神殿が、実はハリボテのセットだつたことに気付いてしまうとなる。

こうなつてしまつてはおしまいだ。**C**彼らはそんな事態が決して起きないようになつてするこではなく、常に何らかの言いわけを用意することになる。

問一 —— ①～⑤のカタカナを漢字に直しなさい。ただし、送りがなが必要なものは、適切につけること。

問二 □A□～□C□にあてはまる言葉を、次からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア あるいは イ そして ウ さらに エ だから オ ところが

問三 □※□にあてはまる語句を、文章中から七字で書きぬきなさい。

問四 —— ①「俺、多分、やればできるような気がするんや」とあります、なぜ、子どもたちは、そのように思ってしまうのですか。

その理由を説明した次の文の□部に、指定された字数で文章中から書きぬきなさい。

今的小学校の成績表が①(四字)の上、②(四字)という評価もつけないため、子どもは、自分がどれだけできないのかという③(二字)がないまま大きくなり、周囲からも「やればできる」と言われ続け、④(三字)なみに自信だけが肥えていくから。

問五 —— ②「こういう子」とありますが、どんな子のことを指していますか。文章中から十六字で書きぬきなさい。

問六 —— ③「魔法の言葉」とありますが、次にあげる具体例の中から文章中のこの意味にあてはまるものとして、最も適当なもの

を次から選び、記号で答えなさい。

ア 算数で解けない問題があつたため、親に教えてもらい解けるよくなつたので、「自分はやればできる」と再び自信が持てた。イ サッカーの試合でピンチを迎えたが、これまでの練習量をもとに「やればできる」と自分を信じて、そのピンチを切りぬけた。ウ ピアノの発表会が近づき、うまく弾けるか不安だつたが、先生に「君はやればできる」と励まされ、苦手な旋律をマスターした。

エ テストでうまくいかないことがあつたが、「やればできるんだから」と思うことで、次は何とかなるような気がしてきた。

問七 —— ④「最高の神殿が、実はハリボテのセットだつたことに気付いてしまう」とありますが、「ハリボテ」とは「紙で作つた芝居の小道具で、外見だけ似せて中身のないもの」という意味です。では、—— ④は、文章中ではどのような意味になりますか。

「最高の神殿」と「ハリボテ」が、何を表しているかを明らかにして説明しなさい。

問八

この文章の要旨（大切な内容を短くまとめたもの）として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 親は、わが子が自信を失わないように、困難な課題に対しては、向き合わなくてすむような環境づくりを促している。

イ 今の教育は、子どもをあまやかすことばかりに熱心になつていて、昔のような厳しい教育に戻すべきだと説いている。

ウ 最近の若者（子ども）が「根拠のない自信」ばかりを持つ傾向について、その原因にあたるものを見明らかにしている。

エ 「やればできる」という言葉は大人には都合がよく、子どもには魔法がかけられる言葉なので、積極的に使うべきだとしている。

〔二〕 次の文章をよく読んで、あとの問い合わせに答えなさい。本文には一部省略があります。

また、字数指定のある問題は、句読点なども一字と數えます。

学校に友達のいない小学生の「私」(奈ノ花)は、近所に住む一人暮らしの大人の女性やおばあちゃん、そして高校生の「南さん」、尾の短いネコと仲良くなり、おたがいに影響を受け合いながら暮らしています。この場面は、一度は授業参観に行くと約束してくれたお母さんが、仕事の都合で結局行けなくなり、親子ゲンカをした翌日のものです。

南さんと新しく読み始めた本のお話をしていると、空が赤くなり、風も冷たくなつて、いつの間にか遠くからチャイムの音が聞こえてきました。

「おら、帰る時間だぞ。ガキ」

南さんにそう言われても、私はいつものように立ち上がって、四本足の友達(ネコ)に声をかけることはしませんでした。

「帰らなくていいのか?」

「親を心配させんな」

「別にいいのよ」

私の言葉に、南さんは □ A 笑いました。

「怒られたのか?」

「怒られたんじゃないわ。ケンカしたのよ」

南さんは、笑つたままこちらを向きました。おもしろくもなんどもないのに失礼しちゃうわ、と少しだけ思いました。

「いいか、ガキ。今から家に帰ると、お前のお母さんはいつもと同じように夜ごはんを用意してくれる。いつもと同じ、おいしいごはんだ。それを食べる時、一言だけ言つんだ。昨日はごめんねつて」

「いやよ」

「強情なやつだな」

「だって、私よりあつちの方が悪いもの」

「ケンカの理由なんてどうせくだらないもんだろ」

「南さんの言い方に、私は少し□B□しました。

「くだらなくないわ。いつもいつも、お父さんもお母さんも、仕事だつて言つて私との約束を④破るの」

「仕事はお前が思うよりずっと大事なもんなんだ」

「分かってるわよ、そう、子どもよりずっと仕事が大事なの」

「んなことないよ」

「じゃあ、どうしていつも私との約束より仕事を優先するの？ 今回もそう。出張だから、授業参観に来られなくなつたつて」

「え」

私が言い終わると、南さんが何かを言いかけたのはほほ同時でした。正面から強い風が一度吹きました。突然の風に、私は目をつむってしまいます。

やがて風が私の長い髪をもてあそぶのをやめ、私は□C□まぶたを開いて、もう一度南さんの方を見ました。たつた数秒。風が奪つたのは、たつた数秒だったはずです。

だから、そんな短い時間で何が起こったのか、すぐには分かりませんでした。

「南、さん？」

まるで、それはさわつたら⑤縮んでしまうオジギソウみたいでした。

南さんの顔から、口元から、さつきまでの笑顔が完全に消え去つていきました。

①前ぶれのない南さんの変化に、私は驚きます。

「どうか、したの？」

私がきちんと聞いたのに、南さんは、答えてくれませんでした。ただ、⑥無言で首をふるふると横に振るだけ。なんでもない、そう言いたかったのでしょう。でも、それがなんでもないことくらい、子どもにでも分かりました。

「ねえ、南さん？」

「おい、奈ノ花」

南さんの声はふるえていました。ふるえる声で、私の名前を呼びました。南さんから、ガキ、以外の呼ばれ方をされたのは初めてで、私はおかしな感じがしました。どうして名前で呼ばれたのかも、南さんがふるえている理由も分かりません。だから、もう一度聞きます。「どうしたの？」

「奈ノ花………一つ、私と、約束しろ」

南さんは、私の質問を無視しました。そしてまたも突然でした。南さんは私を体の正面にむかえ、私の肩かたをつかみました。正面から見る南さんの前髪の奥おくの目は、今までに見たことがない色をしていました。

「や、約束？」

「約束。いや、私からの頼みでもいい。聞け」

「いきなり、どうしたの南さん」

「いいから聞け。一つだけだ。今から帰つたら、絶対に親と仲直りをしろ」

意味が分からぬ南さんからのお願い。つい首を横に振る私に、南さんは続けました。

「いいか、お前の気持ちは、分かる。さびしかつただろうし、悔くやしかつたんだろ。それで、お前のことだから、ひどいことも言つちやつただろ。④意地になつて、引き下がれないのも、分かる。だけど、それでも今日、お前から⑤謝れ。ごめんなさいって、言え」

「い、いやよ。そんなの、大体……」

「ずっと後悔することになるんだぞ！」

南さんの風を切るような大声に、今度は私がふるえました。ふるえて、南さんの顔を見て、もう一度ふるえました。

南さんは、怒おこっていました。それも、どうしてか、今度はその怒りがしつかりと私に向いているように思えたのです。

何がなんだか、子どもの私にはもうさっぱりでした。そんな私を無視して、南さんは言いました。意味の分からぬことを、言いました。

した。

「後悔、してる。ずっと、後悔、してるんだ。あの時、なんて謝れなかつたのかつて。もう、ケンカもできなくなつた。怒つてもらうこともできなくなつた。夜ごはんもいつしょに、食べられなく、なつた」

「南さん……何を、言つてるの」

「私は、もう謝ることもできない。だから、頼む」

南さんは目から□D一筋、水をこぼしました。私の知る限り、大人の涙ほど、子どもを驚かせるものはありません。

自分が泣いていることに気がついて、それをかくそとしたのでしょう。南さんは目を無理やりに袖そでふきました。

「いいか、②人生とは、自分で書いた物語だ」

南さんは、私の口ぐせをまねしました。だけれども、私にはすぐにその答えが分からなかつたので、いつも私が聞かれるように、「どういう意味？」と言つて首をかしげました。

「推敲すいこうと添削てんさく」、自分次第で、ハッピーエンドに書きかえられる。いいか、別にケンカしちゃいけないんじゃない。でも、ケンカするこ→推敲すいこう||文章の言葉を何度も練り直すこと。添削てんさく||文章のむだを省いたり不足を書きくわえたりして、良くすること。

とと仲直りがセツトだつてこと、あの時の私には分からなかつたんだ。でも、お前はかしこいから、分かるはずだ。お母さんが、授業参観に行けないつて分かつた時、お前と同じくらい悲しかつたこと。いつしょに遊べないのが、お前と同じくらいにさびしいこと。それでも、お前に大好きな料理を食べさせるために働いて働いて、その中で、お母さんがお前と夜ごはんを必ずいつしょに食べててくれるこの意味。お父さんが誕生日には必ずお前のほしいものを買ってきてくれる理由を、分かつてはるはずだ

「……」

「南さんに言われて、③私は思い出の中からそれらをひっぱりだしました。

「仕事が終わつていなゐのに、私といつしょにごはんを食べて、それからもう一度出かけていくお母さん。私がほしいと言つたぬいぐるみを、近くのお店にないからといつて遠くの町まで買いに行つてくれたお父さん。今日の朝、私は怒つて口もきかなかつたのに、用意された朝ごはんも食べなかつたのに、出かける背中に聞こえた「いつてらつしやい」のこと。

私は思い出していました。

「私みたいに、ケンカしたままもう会えなになんてことになつてほしくない」

その言葉でやつとです。④私は南さんがどうして大人なのに泣いたのか、分かりました。

「だから、約束してくれ。今日、できなくてもいい。明日でもいい。でも、絶対に仲直りするつて。時間は、もどつてこないんだ」

南さんは、前髪をかきあげて、私の目を□E見ました。初めて見る南さんのまつさらな顔は、透明で、優しくて、すてきでした。

(住野よる『また、同じ夢を見ていた』より)

問一　――①～④の漢字の読みを、ひらがなで答えなさい。

問二　□A　□S　□E　においてはまる言葉を次から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア しつかりと　イ むつと　ウ すうつと　エ くすりと　オ ゆっくりと

問三　――①「前ぶれのない南さんの変化」とあります。が、「南さん」は、どのような様子からどのような様子へと「変化」したのですか。その変化を説明した次の文の□部に、指定された字数で文章中から書きぬきなさい。

最初は、軽い親子の①(二字)だと思って②(五字)の様子であつたが、「私」が深く傷ついていることを感じ取つて、それでも「私」に一生③(二字)し続けることになつてしまわないよう、④(三字)親と仲直りさせたいと強く願う様子へと変化している。

問四

——②「人生とは、自分で書いた物語だ」とありますか、「南さん」は「私」にどういうことを伝えようとしていますか、次にあげるものの中からあてはまらないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分にとつてつらいことがあっても考え方次第で幸せに感じることができるので、前向きに考えろ。
イ 自分は親に対し意地を張り続けてしまったため、今でも悲しい思いを引きずっているのだ。
ウ お前なら、よく考えれば、親がお前のことを大切に思っていることを分かってやれるはずだ。
エ これからお前が親に対してどういう行動を取るかで、幸せになれるか不幸になるかが決まるのだ。

問五

——③「私は思い出の中からそれらをひっぱりだしました」とありますが、私が思い出した具体的な内容が描かれている部分を三文でとらえ、最初と最後の三字ずつを書きなさい。

問六

——④「私は南さんがどうして大人なのに泣いたのか、分かりました」とありますが、このあと、「私」の心にどんな気持ちがわいてきたと想像できますか。「私」になつたつもりで、「私」の心の中のセリフを考えて書きなさい。

問七

この文章の表現の特徴^{とくちょう}を説明したものとして、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア たたみかける会話表現により、二人が最後まで理解し合えない姿が切なく描かれている。
イ 人物や自然現象などの表現にたとえを用いることで、その様子が想像しやすくなっている。
ウ 回想（過去を思い出す）の場面を多くもりこむことで、人物の変化がとらえやすくなっている。
エ 風景の表現により、将来二人の仲が引きさかれてしまうことが暗示（それとなく示す）されている。

三

次の各問いに答えなさい。

問一

漢字の読みには音と訓があります。次の熟語の読みは□の中のどの組み合わせになつていますか。ア～エの記号で答えなさい。

- ① 野宿 ② 目頭 ③ 出場 ④ 新型

ア 音と音	イ 音と訓
ウ 訓と訓	エ 訓と音

問二

次の慣用句の□には、漢字一字が入ります。それと同じ漢字が使われているものをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 下手の□好き…………下手なくせにその事に熱心なこと。

ア ホン人 イ 海ショウウ ウ 拡ダイ エ オウ断

- ② □から火が出る…………はずかしくてまつ赤になること。

ア 洗ガン イ 力庭 ウ 登ザン エ 注モク

- ③ □裏をあわせる…………二人が言つことを一致させること。

ア 頭ノウ イ ク調 ウ 選シユ エ ハイ景

問三

次の□に漢字二字を入れると四字熟語が完成します。それぞれにあてはまるものを後の語群から選び、漢字に直して答えなさい。

- ① 起承□ ② 心機□ ③ 油断□

【語群】

てんけつ

むちゅう

ちょくにゅう

たいてき

いつてん

平成二十一年度	五	九州国際大学 附属中学校	受験番号	氏名	得点
人試問題解答用紙	言叶				

一	問一	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ
---	----	---	---	---	---	---

問二	A	B	C
----	---	---	---

問三	5
----	---

問四	①	5	②	10	③	15	④
----	---	---	---	----	---	----	---

問五	5	10	15
----	---	----	----

問六

問七

問八

二	問一	Ⓐ (る)	Ⓑ (る)	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ (れ)
---	----	-------	-------	---	---	-------

問二	A	B	C	D	E
----	---	---	---	---	---

問三	①	5	②	10	③	15	④
----	---	---	---	----	---	----	---

問四

問五	5	10
----	---	----

問六

問七

三	問一	①	②	③	④
---	----	---	---	---	---

問二	①	②	③
----	---	---	---

問三	①	②	③
----	---	---	---